

5 参考絵図 (5) 鹿児島ぶり

(国立国会図書館蔵、デジタルコレクションより、白井光太郎博士旧蔵本)



①鹿児島略図



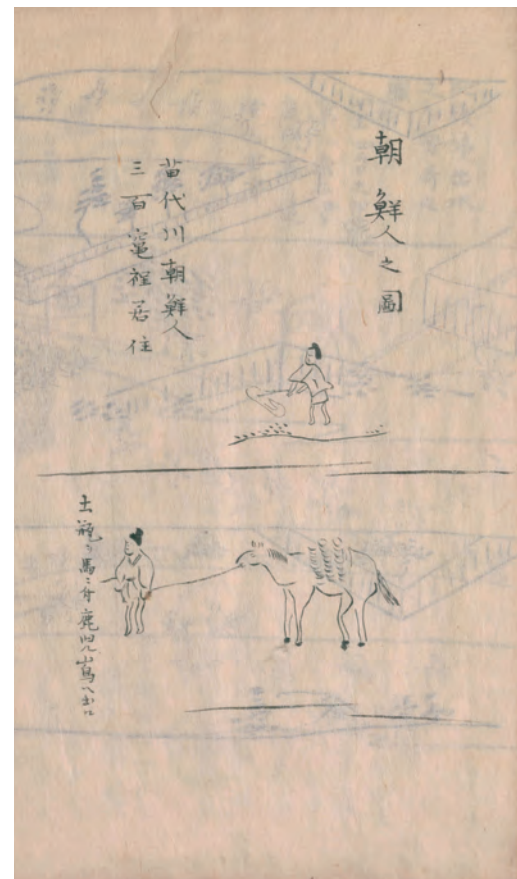
伊東陵舎（凌舎）『鹿児島ぶり』3巻3冊 1838（天保9）年序

『鹿児島ぶり』は、江戸の講談師伊東陵舎（凌舎）の薩摩見聞録である。陵舎は、当時隠居であった前藩主島津斉宣の命により、その薩摩下向に伴われて鹿児島に赴き、1835-36（天保6-7）年に鹿児島に滞在した〔三原 2002〕。その間に斉宣の薩南巡幸に加わって藩内各地も巡った。『日本庶民生活史料集成』9（風俗）〔竹内・原田・平山 1969〕に翻刻が収録されている。



②下町之図

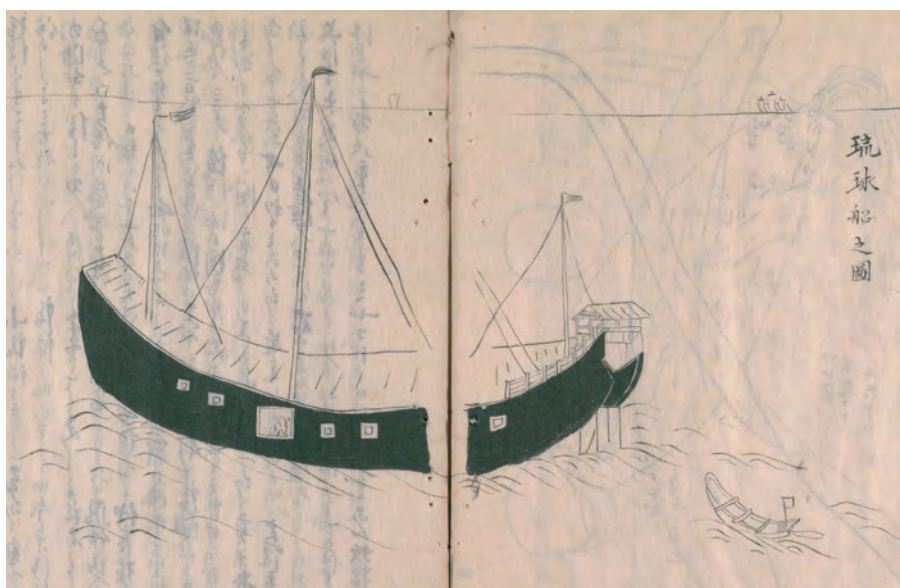
※右上は劇場か陵舎の宿所。「御免 東都演舌者 伊東凌舎 古戦咄」の張札がある。前方は商店。右から琉球物を扱う店、髪結床（江戸伝）、質屋。



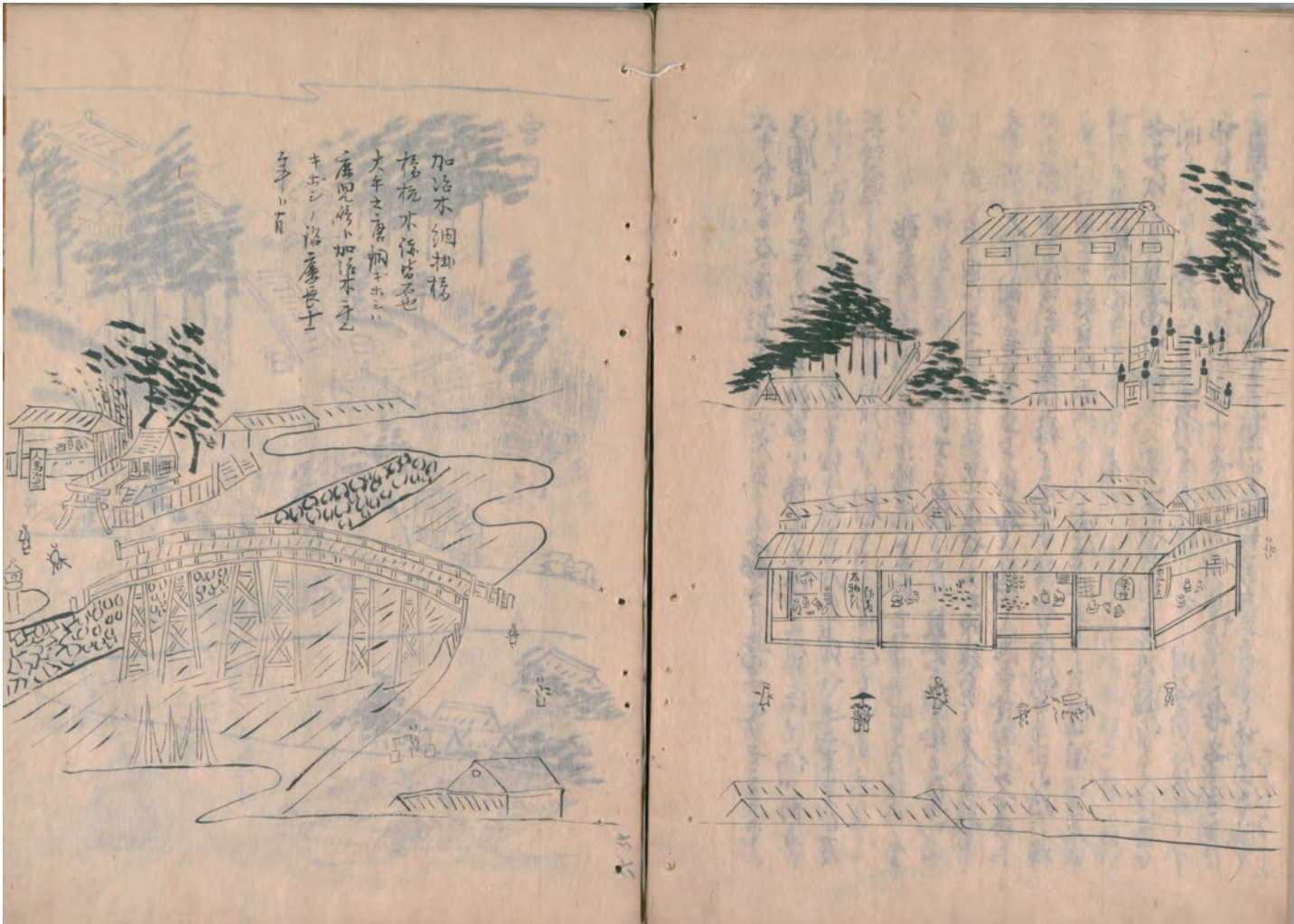
③朝鮮人之圖



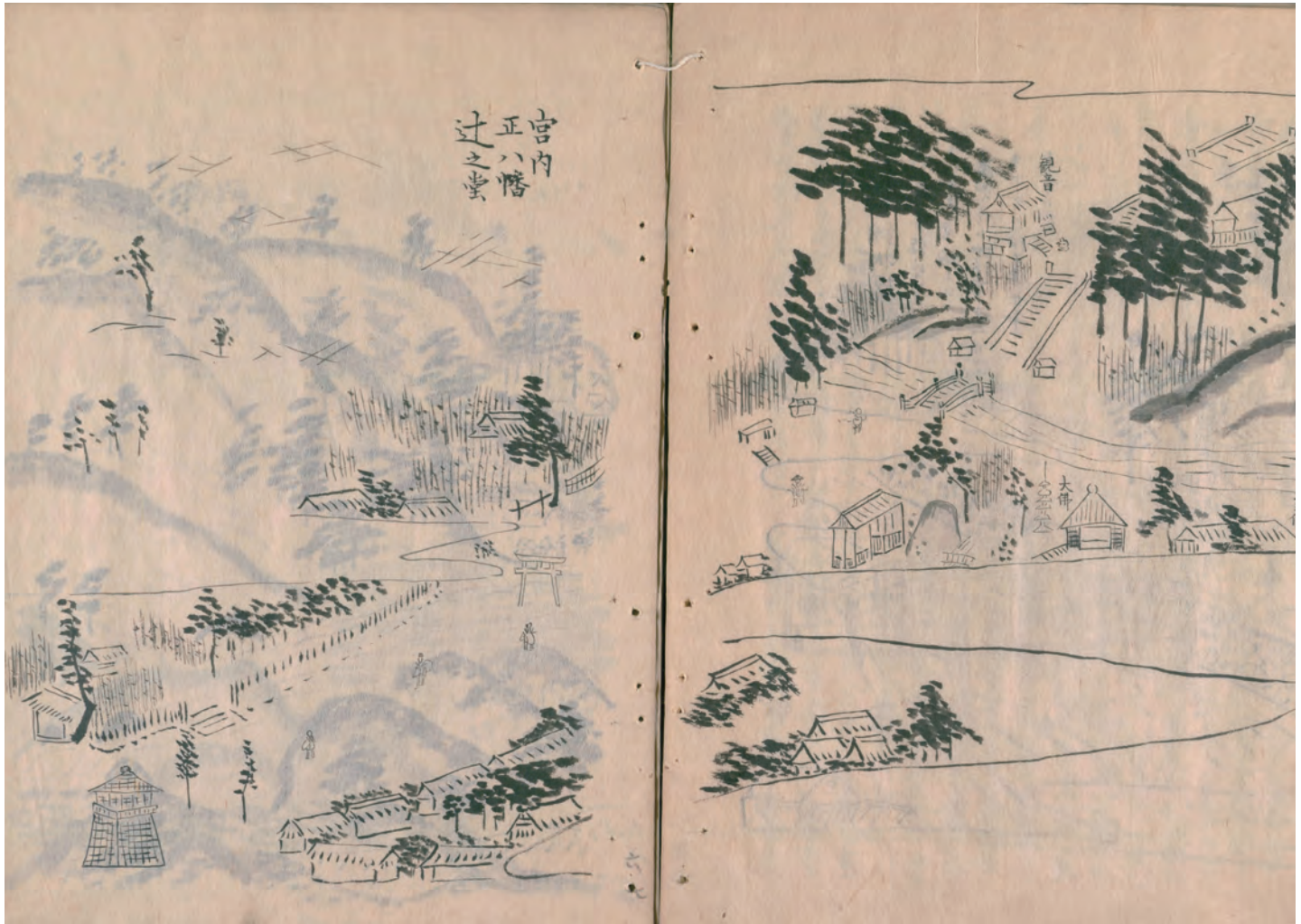
④琉球館・都城屋鋪・新橋



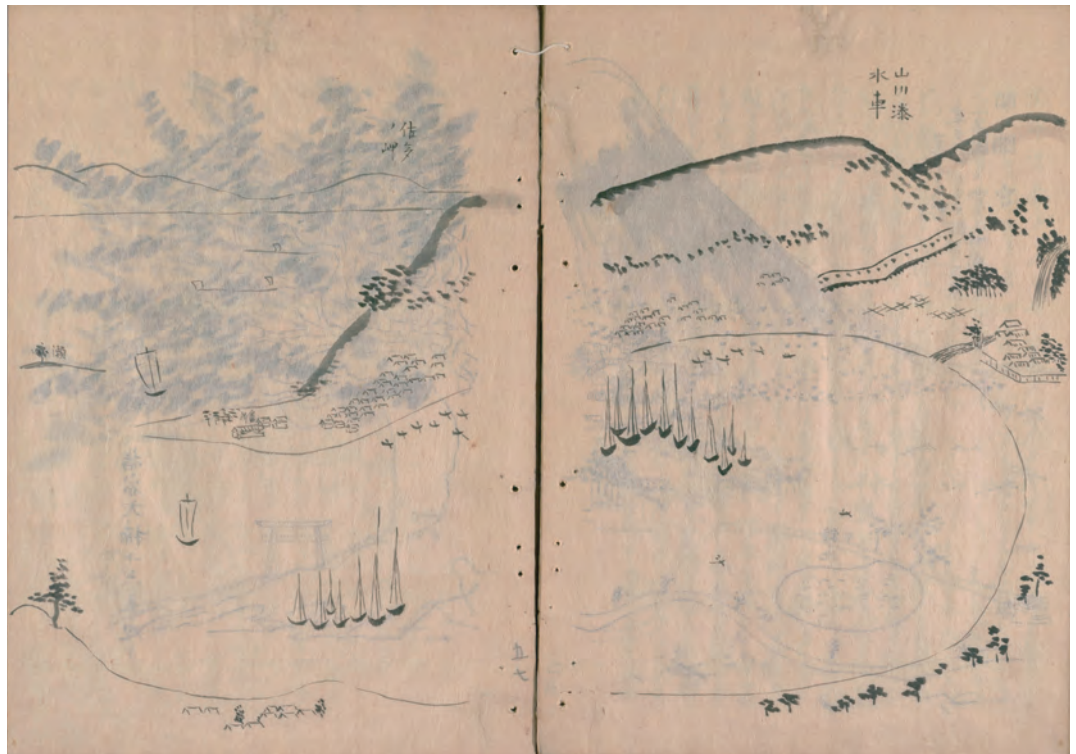
⑤琉球船之図



⑥加治木細掛橋



⑦宮内正八幡之堂



⑧山川湊・水車

※本文に「山川湊、如図。水車にて油しめ見物す」とある。